



公 益 社 団 法 人
日 本 コ ン ク リ ー ト 工 学 会 四 国 支 部
第 19 回 総 会

2023年5月16日（火）

リーガホテルゼスト 高松

（香川県高松市古新町 9-1）

総 会

15 : 00～16 : 20 (3 F ダイヤモンドの間)

1. 開会

2. 議長の選出

3. 議事録記録者および議事録署名人の選出

4. 報告

(1) 2022 年度支部事業報告および収支決算 (p1～p21)

(2) 2023 年度支部事業計画および収支予算 (p22～p29)

(3) 支部執行部の改選 (p30)

(参考) 支部規程 (p31～p34)

5. 四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会活動報告 (別冊)

コンクリート甲子園への初挑戦および防災かまど製作 (16 : 00～16 : 20)

報告者 : 松川 将大 (徳島県立つるぎ高等学校建設科 教諭) 音声入り画像にて報告

6. 閉会

支部総会特別講演会

16 : 30～17 : 30 (3 F ダイヤモンドの間)

講演題目 : (仮題) 茅葺・茅採取ワークショップの実践 : 四国南西部の茶堂と四国カルスト

講演者 : 釜床 美也子 先生 (香川大学創造工学部 講師)

懇 親 会

17 : 30～19 : 30 (3 F 翡翠の間)

J C I 四国支部 2022年度事業報告

1. 支部幹部会

【第12回】(2022年度第1回)

日 時：2022年11月8日(火) 15時～16時30分

場 所：香川県生コンクリート工業組合 (Web会議)

出席者：支部長，副支部長，幹事7名，検査役，研究委員会報告者2名，事務局
計13名

議 題：上半期の事業報告と下半期の事業計画確認 等

【第13回】(2022年度第2回)

日 時：2023年1月30日(月) 14時15分～15時30分

場 所：香川県生コンクリート工業組合 2F会議室 (対面式)

出席者：支部長，副支部長，幹事9名，検査役，研究委員会報告者1名，事務局
計14名

議 題：12月末までの収支決算の確認，2023年度事業計画と事業予算の審議 等

2. 支部執行委員会

【第12回】(2022年度第1回)

日 時：2022年5月10日(火) 15時～16時20分

場 所：香川県生コンクリート工業組合 (Web会議)

出席者：支部長，副支部長，幹事8名，執行委員12名，検査役
次期執行委員1名，研究委員会報告者1名，事務局
計26名

議 題：2021年度事業報告・収支決算報告，2022年度事業計画・収支予算最終確認 等

【第13回】(2022年度第2回)

日 時：2023年2月10日(金) 15時～16時45分

場 所：香川県生コンクリート工業組合 (Web会議)

出席者：支部長，副支部長，幹事8名，執行委員10名，検査役，事務局
計22名

議 題：12月末までの収支決算の確認，2023年度事業計画と事業予算の審議 等

3. 支部執行部候補者推薦委員会

【第7回】

日 時：2023年1月30日(月) 14時～14時15分

場 所：香川県生コンクリート工業組合 2F会議室 (対面式)

4. 内部監査

日 時：2022 年 4 月 9 日（土）11 時～12 時

場 所：香川県生コンクリート工業組合 2F 会議室（対面式）

出席者：橋本支部長，堀井検査役，古田出納管理者，新居

5. 支部総会

コロナ禍のため，昨年度に引き続き対面式の総会は開催しない。第 12 回支部執行委員会承認後に 2021 年度活動報告・収支決算および 2022 年度活動計画案・収支予算案等を総会資料として HP へ 5 月 18 日に掲載し活動内容を周知した。

6. 研究委員会活動

- 1) 四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会【常設委員会】(p5～7 参照)

委員長：橋本親典（徳島大学）・・・四国支部長担当

- 2) 四国の生コン技術力活性化委員会【第 5 期】【継続，2020 年～】(p8～10 参照)

委員長：島弘（高知工科大学）

7. 講演会・講習会など

- 1) 特別講演会

コロナ禍のため開催しなかった。

- 2) 講習会

- ・四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会活動報告

第 14 回コンクリート甲子園

モデル活動校：多度津高校

日 時：2022 年 5 月 10 日（火）15 時～17 時

場 所：香川県生コンクリート工業組合（Web 会議）

発表者：尾寄 秀典（多度津高校）

公 表：5 月 10 日開催の第 12 回支部執行委員会終了後に報告した。また，発表用の ppt スライドを支部総会資料と併せて 5 月 18 日に支部 HP へアップした。

- ・コンクリート技術研修会（p11, 12 参照）

日 時：2022 年 9 月 30 日（金）13 時～17 時

場 所：サンピアセリーズ（高知県高知市）

主 催：高知県コンクリート診断士会

後 援：JCI 四国支部

参加者：113 名

- ・生コンセミナー i n 香川（2021 年度から延期）(p13, 14 参照)

日 時：2022 年 11 月 2 日（水）13 時 30 分～17 時

場 所：ホテル パールガーデン（高松市）

主 催：香川県生コンクリート工業組合

共 催：全国生コンクリート工業組合連合会四国地区本部，JCI 四国支部

参加者：74 名

- ・生コンセミナー i n 高知（「四国の生コン技術力活性化委員会【第 5 期】」の成果報告会および活動 10 周年記念講演）（p15～17 参照）

日 時：2023 年 3 月 10 日（金）13 時 30 分～17 時

場 所：サンピアセリーズ（高知県高知市）

主 催：JCI 四国支部

共 催：高知県生コンクリート工業組合

参加者：70 名

3）コンクリートに関する技術情報交換会（Web）（p18 参照）

- ・第 3 回

日 時：2022 年 6 月 21 日（火）15 時 30 分～17 時

話題 1：目視情報を活用した RC 構造物の剥落予測手法

報告者：角野 拓真（阿南高専）

話題 2：清水建設の最新の土木施工におけるコンクリート技術の紹介

報告者：藤井 禎（清水建設㈱）

参加者：27 名

- ・第 4 回

日 時：2022 年 11 月 9 日（水）15 時 30 分～17 時

話題 1：シリンダーを用いた簡易透気試験装置の紹介（仮称）

報告者：渡邊 健（徳島大学）

話題 2：ひび割れ抑制を目的とした膨張コンクリートの選定と効果について

報告者：下村 昭司（大旺新洋㈱）

参加者：24 名

4）研究委員会成果報告書の HP へのアップ

以下の研究委員会については報告会を開催せず，成果報告書を支部 HP へアップした。

- ・四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会

委員長：林 和彦（香川高専）

活動期間：2018 年度～2019 年度

HP へのアップ：2023 年 3 月 31 日

- ・材料分離が生じたコンクリート中の鉄筋腐食性状の評価委員会

委員長：河合慶有（愛媛大学）

活動期間：2020 年度～2021 年度

HP へのアップ：2023 年 3 月 31 日

8. 見学会

中止（11 月 8 日の支部幹部会で最終決定）

9. 本部関連行事

1) コンクリート診断士試験

日 時：2022 年 7 月 24 日（日）

場 所：高松国際ホテル（高松市木太町 2191-1）

統括責任者：松島学（香川大学） 事務責任者：古田満広（香川県生コン組合）

監督者：1 名（昨年：1 名）

監督補助者：7 名（昨年：香川大学 7 名）

事務補助者：香川県生コン組合 2 名

試験申込者数：220 名（2021 年の 229 名に対し－9 名）

全国 合格率：16.0%（557/3474）欠席率：24.5%（1127/4601）

高松 合格率：8.8%（15/170）欠席率：22.7%（50/220）

2) コンクリート技士・主任技士試験

日 時：2022 年 11 月 27 日（日）

場 所：香川大学創造工学部

統括責任者：吉田秀典（香川大学） 事務責任者：古田満広（香川県生コン組合）

監督者：9 名（昨年：香川大学 9 名）

監督補助者：26 名（昨年：香川大学 26 名）

事務補助者：香川県生コン組合 1 名

試験申込者数：技士 378 名（2021 年の 374 名に対し＋4 名）

主任 194 名（2021 年の 198 名に対し－4 名）

【技士】

全国 合格率：31.9%（2764/8672）欠席率：16.3%（1693/10365）

高松 合格率：30.7%（103/335）欠席率：11.4%（43/378）

【主任】

全国 合格率：13.7%（402/2976）欠席率：24.0%（932/3878）

高松 合格率：9.2%（14/152）欠席率：21.6%（42/194）

10. ホームページ運営

JCI 四国支部のホームページを充実する。

11. 会員増強

JCI 会員の増強を図る。

以上

令和４年度 第１回「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」 議事録

１．日 時 令和４年８月２３日(火) １５:１０～１６:４５

２．場 所 Zoom によるリモート会議

３．出席者 橋本親典、前川英介、尾寄秀典、椎野彰浩、根口百世、小松博英、林和彦、角野拓真、松川将太（オブザーバー）

４．配付資料

＜配付資料＞

資料-1 令和４年度第１回「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」出欠一覧

資料-2 令和４年度四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」委員一覧

資料-3 コンクリート教育モデル活動校一覧表(2006 年～)

資料-4 コンクリート関連企業への就職者数調査（平成 27 年～令和 3 年）

資料-5 コンクリート教育モデル校 パワーポイント資料

５．議題

近藤幹事長が zoom 会議の接続困難で欠席したため、議事進行は橋本支部長が行った。

・以下について審議し、次の結果を得た。

（１）委員長挨拶

橋本支部長から、本委員会の活動に関する紹介がなされた。

（２）近況報告

資料 1 を用いて、各委員の近況報告がなされた。

（３）コンクリート教育モデル活動校による活動の中間報告

徳島県立つるぎ高等学校 松川将大先生から、資料 5 を用いて「本校におけるコンクリート教育の取り組み（仮題）」の説明がなされた。この説明に対して、委員から質問や意見があった。

（４）令和 5 年度コンクリート教育モデル活動校の審議・決定

資料 3 を用いて、令和 5 年度モデル活動校の審議を行った。

・モデル活動校について

令和 5 年度は高知県の順番であり、根口先生に検討していただいた。審議の結果、高知工業高等学校定時制建築科の根口先生になった。なお、根口先生が異動になり、コンクリート教育に活動が困難になった場合は、高知工業高等専門学校ソーシャルデザイン工学科の近藤先生にお願いすることになった。

・要望予算額について

今年度と同額の 150,000 円を要望することになった。

・コンクリート甲子園参加校への支援金について

今年度のコンクリート甲子園に出場した学校には、最大 2 万円の援助を J C I 四国支部として支出する。次年度も同様に 1 校 20000 円を要望することになった。

（５）令和 4 年度 コンクリート関連企業への就職者数調査について

資料 4 を用いて、調査結果の報告がなされた。令和 4 年度は、生コン系 1 名、製品製造系 2

名、その他 2 名の合計 5 名であった。

(6) その他

・話題提供として、角野委員から、「企業からみたコンクリート教育について」の講演がなされた。これに対して、各委員から質問があった。

・橋本支部長から、JCI2024（松山）の生コンセミナーでは、生コン業界を中心としたコンクリート関係の技術者の育成に関する話題を取り上げたい。できれば、本委員会活動を全国から聴講される参加者に紹介したいとの話がなされた。

6. 次回委員会開催日について

今年と同様に zoom 会議とし、来年 8 月頃に開催することが承認された。

開催日時は、近藤幹事長が来年 6 月頃に調整する。

なお、来年度の委員会委員長は、上田隆雄副支部長（来年度支部長）になる予定。

（記録 橋本親典）

令和4年度 コンクリート教育活動費 会計報告書

決算日：令和5年2月3日

予算額：15万円

項目	単価	個数	収入額	支出額	残高
活動支援金	¥150,000	1	¥150,000	¥0	¥150,000
圧縮強度用型枠(150×150×150)	¥92,000	1	¥0	¥92,000	¥58,000
曲げ強度試験用型枠	¥52,000	1	¥0	¥52,000	¥6,000
ハヤマキ(12mm×50m)	¥6,000	1	¥0	¥6,000	¥0

上記の内容に相違ないことを証明します。

報告者：徳島県立つるぎ高等学校（松川 将大）

「四国の生コン技術力活性化委員会【第5期】」2022年度活動報告

1. 委員会の目的

JCI 四国支部では初めての試みとして平成 24 年に「四国の生コン技術力活性化委員会」を設置し、2 年間の活動を経て生コン工場独自の課題に対して 4 県の技術者がそれぞれ実験を行い、論文に取り纏め JCI 年次大会 2014（高松）において発表しました。さらに、本委員会を継続し平成 26 年に第 2 期委員会を、平成 28 年に第 3 期委員会を、平成 30 年に第 4 期委員会を立ち上げそれぞれ 2 年間の活動を行いました。また、研究成果として JCI 年次大会 2016（博多）で 4 編、2018（神戸）で 3 編発表し、2020（広島）に 4 編投稿しすべて採択されました。さらに、1 期から 3 期委員会での研究成果の 1 部を展開し全国生コンクリート工業組合連合会主催の生コン技術大会においても発表することができました。このように、生コン業界自ら提案し JCI 年次大会などの全国規模の大会に投稿、発表することは全国でも稀なケースであり、四国の生コン業界の技術力活性化に一助になったと考えています。なお、技術力の活性化には活動の継続が最も重要と思い、第 5 期委員会を設置することになりました。趣旨はこれまでの委員会と同じく生コン工場の技術者が主体となって活動し、技術力の活性化を促すことです。

2. 委員会活動

本委員会（委員長：島 弘高知工科大学教授）は 2020 年度にスタートした。コロナ禍により 2020 年度、2021 年度はともに 2 回ずつの開催であり、計画どおり取り組むことができなかった。そのため、当初予定していた活動期間 2 年を支部執行委員会の承認を得て 1 年延長することになった。2022 年度は委員会を 3 回開催し、成果報告会を 2023 年 3 月に開催した。主な協議内容等は以下のとおり。

【第 5 回委員会】

1. 日 時 2022 年 5 月 21 日（土）13 時 30 分～17 時 00 分
2. 場 所 高知県生コンクリート工業組合 技術センター東部試験所
3. 出席者 11 名
4. 協議内容
 - ・ 実験結果が報告され、整理方法等が協議された。

【第 6 回委員会】

1. 日 時 2022 年 9 月 10 日（土）13 時 30 分～16 時 30 分
2. 場 所 高知県生コンクリート工業組合 技術センター東部試験所
3. 出席者 12 名
4. 協議内容
 - ・ 実験結果が報告され、整理方法等が協議された。
 - ・ 年度末に成果報告会を開催することが決定された。

【第7回委員会】

1. 日 時 2022 年 11 月 12 日（土）13 時 30 分～16 時 30 分
2. 場 所 愛媛県生コンクリート工業組合
3. 出席者 10 名
4. 協議内容
 - ・ 実験結果が報告され、論文最終案が確認された。また、整理ができていないグループについては、整理方針と取り纏め時期が確認された。
 - ・ 年次大会 2023（九州）への投稿方法および期日が確認された。
 - ・ 成果報告書の作成方法とデータ提出期日が確認された。
 - ・ 本委員会活動を 5 期で一旦終了することに決定した。
 - ・ 成果報告会を委員会活動 10 周年として開催することに決定した。

【成果報告会】（委員会活動 10 周年記念）生コンセミナー i n 高知と共催

1. 日 時 2023 年 3 月 10 日（金）13 時 30 分～17 時
2. 場 所 サンピアセリーズ 高知
3. 参加者 70 名

3. 委員名簿

本委員会の委員を下表に紹介する。

県	区分	氏 名	所 属
—	委員長	島 弘	高知工科大学工学部社会システム工学科
—	幹事長	古田 満広	香川県生コンクリート工業組合
徳島	委 員	橋本 和己	(有)松尾建材
	〃	三島 拓也	檜野石灰工業(株)
香川	〃	新居 宏美	香川県生コンクリート工業組合 技術試験センター
	〃	新居 佑将	香川県生コンクリート工業組合 技術試験センター
愛媛	〃	渡部 善弘	愛媛県生コンクリート工業組合 中予技術センター
	〃	成川 真悟	(株)キクノ
高知	〃	松本 明	(株)ビルドベース中芸生コンクリート
	〃	谷口 恵一	室戸菱光コンクリート（株）
	〃	宮澤 学	高知県生コンクリート工業組合 技術センター東部試験所
	〃	森澤 勝弘	高知県生コンクリート工業組合 技術センター東部試験所

以上

四国の生コン技術力活性化委員会【第5期】 2022年度収支報告書

項 目	年月日	開 催 地	出席者数	収 入	支 出	残 金	備 考
2022年度研究委員会費	2022. 05. 17	—	—	407, 460			JCI四国支部より入金 (2021年度委員会費残金157, 460円含む)
第5回委員会旅費	2022. 05. 21	高知県生コンクリート工業組合 技術センター東部試験所	11名		82, 900	324, 560	島先生不要, 1名欠席
旅費換金手数料					220	324, 340	
第6回委員会旅費	2022. 09. 10	高知県生コンクリート工業組合 技術センター東部試験所	12名		82, 900	241, 440	島先生不要, 全員出席
旅費換金手数料					220	241, 220	
第7回委員会旅費	2022. 11. 12	愛媛県生コンクリート工業組合	10名		83, 200	158, 020	島先生不要, 2名欠席
旅費換金手数料					220	157, 800	
成果報告会旅費	2023. 03. 10	サンピアセリーズ高知 (高知県高知市高須砂地155)	14名		122, 900	34, 900	島先生不要, 全員出席 2名追加 (橋本先生講演, 林氏パネ ラー)
旅費換金手数料					220	34, 680	
会場費	2023. 03. 10	サンピアセリーズ高知 (高知県高知市高須砂地156)	—		89, 400	-54, 720	
会場費振込手数料					880	-55, 600	
成果報告書作成費	2023. 03. 08	—	—		162, 855	-218, 455	
振込手数料					550	-219, 005	
成果報告会参加費	2023. 03. 10	サンピアセリーズ高知		54, 000		-165, 005	参加者70名(島先生, 橋本先生, 委員 12名, マスコミ2社は無料)
成果報告書購入	2023. 03. 10	—		4, 000		-161, 005	香川県生コンクリート工業組 合が4冊購入
支部から支援				161, 005		0	

第 11 回コンクリート技術研修会

日時：2022 年 9 月 30 日(金)13：00～17：00

場所：サンピアセリーズ 高知市高須砂地 155

主催：高知県コンクリート診断士会

共催：(公社)日本コンクリート工学会 四国支部・(公社)高知県土木施工管理技士会

参加者：113 名内女性 4 名



挨拶：原田 隆敏

高知県コンクリート診断士会会長

関係各位また講師陣のご尽力により、第 11 回の研修会を開催することができました。新型コロナウイルス感染の影響を受け 3 年ぶりの開催となります。当会は 2008 年に 20 数名で発足、現在技術顧問 3 名、特別会員 2 名、一般会員 57 の合計 62 名で活動しております。

近年はコンクリートの表層品質が耐久性に与える影響について、話題となっています。良質なコンクリート構造物を造る際の各段階における留置点や工夫等について第一線でご活躍されている講師陣を招いた研修会となっております。本日参加の皆様におかれましては、研修会で得られた知見を、今後の業務に反映させていただければ幸いです。



【講演Ⅰ】

『高知県におけるコンクリート打設等の工夫について』

廣末 清久

高知県土木部技術管理課技査

高知県内ではインフラ構造物の維持管理技術者の養成を実施している。検査は近接目視点検を基本としており近年では D X を導入し成果を挙げている。コンクリート構造物はコンクリート打設から養生等を工夫することで、耐久性向上が期待できる。県内で実施された施工例を紹介し各施工段階での取り組みでコンクリートの初期欠陥が低減できる方法が示された。



【講演Ⅱ】

『四国地方整備局管内における道路の長寿命化対策について』

松島 章公

国土交通省四国地方整備 道路部道路課 道路構造保全官

国民の生活を支えるインフラ構造物の老朽化が問題となっている。橋及びトンネルにおいては平成 26 年に 5 年/回による近接目視による点検が義務付けられた。予算を得るには国民の理解が重要であり、点検結果の見える化を進めている。今後築 50 年を超える構造物が加速的に増加することへの対応として、技術者の確保と D X 等を駆使した効率化を図り、老朽化対策を進めることが重要である。



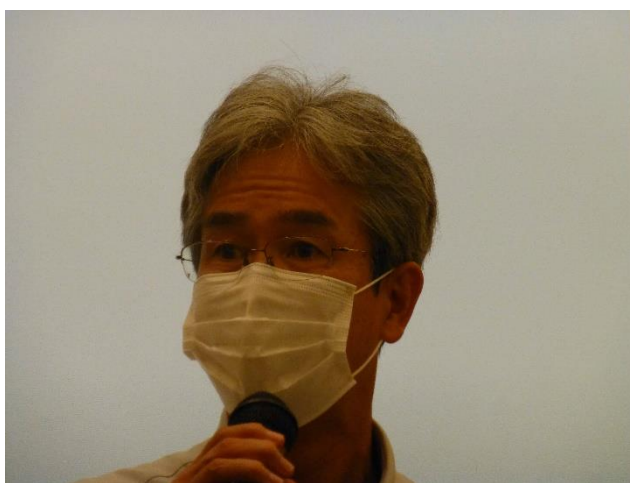
【講演Ⅲ】

『コンクリートの品質確保のための養生の本質理解とコンクリートの炭酸化の利用』

伊与田 岳史

芝浦工業大学 先進国際課程(土木工学科兼任)教授

コンクリートの養生は強度、耐久性等所要の品質を確保するための手段である。養生が与える影響について圧縮強度、水和、中性化等の実験例を参考に報告があり、養生はセメントの水和と密接にかかわっており、コンクリートの表層品質に与える影響が大きい(20 mm程度)。養生だけで問題が全て解決ではなく、施工が非常に重要になってくる。カーボンニュートラル実現に向けセメント・コンクリート分野ではCO₂排出削減とCO₂吸収・固定化で対応する方向性が示されており、前者ではセメントの代替品活用、後者は再生骨材にCO₂を固定化し再生骨材の高品質などの事例が紹介された。



【閉会挨拶】

島 弘

高知工科大学教授

高知県コンクリート診断士会が設立して 14 年が経過しました。コンクリート診断はよく医療の診察と比べられ、両者とも不具合の原因究明と、対処療法が極めて重要です。是非コンクリート診断士を取得して頂き、得られた技術力でコンクリート構造物の耐久性向上並びに、インフラ整備等にご貢献してもらいたい。また、コンクリート診断士に合格された場合は是非、当会に加入して頂きたい。

会場写真



生コンセミナー i n 香川

ー 香川県生コンクリート工業組合創立 50 周年まであと 1 年 ー

何かにチャレンジしよう！何かを始めよう！

～ カーボンニュートラル，高強度コンクリート JIS 認証，そして生コンの熱中症対策 ～

本セミナーは平成 17 年度に香川県でスタートし，各県持ち回りで開催しています。令和 3 年度が 5 回目の担当でしたが，コロナ禍により 1 年延期となりました。令和では初めての開催です。これまで，JIS 認定から認証制度への移行，あるいは環境に優しいコンクリートなど直面する課題をテーマとしました。また，第 3 回目では「四国の生コンについて語ろう」と題し，初めてのパネルディスカッションに挑戦しました。さらに，前回は全国生コンクリート品質管理監査会議の正副議長，全国生コンクリート工業組合連合会（全生連）会長等をお招きし，全国統一品質管理監査制度，JISA5308，若手雇用，あるいは女性の活躍など多岐に亘るテーマについて討論しました。今回は，2023 年に香川県生コンクリート工業組合が創立 50 周年を迎えることから初心を忘れないよう，キーワードを「チャレンジ(挑戦)」としました。2050 年カーボンニュートラルへの挑戦，高強度コンクリートの普及に伴う JIS 認証への挑戦，そして生コンを猛暑から守る対策（熱中症対策）への挑戦です。

カーボンニュートラルにつきましては，全生連において 2021 年に特別検討委員会を発足させ，生コン業界でできることを検討中です。結論に至るまで時間を要するテーマであることから現状の方針等を全生連常務理事よりお話しします。高強度コンクリートの JIS 認証および生コンの熱中症対策については，取り組みが進んでいます都内の生コン工場より情報を提供します。

このようにホットな話題を提供したいと考えていますので，是非ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 主 催 香川県生コンクリート工業組合
共 催 公益社団法人 日本コンクリート工学会四国支部
全国生コンクリート工業組合連合会四国地区本部
2. 日 時 令和 4 年 11 月 2 日（水）13 時 30 分～17 時
3. 場 所 パールガーデン「讃岐の間」（香川県高松市福岡町 2-2-1）
4. 定 員 100 名
5. 参加費 無料
6. 申込方法

参加申込書に所定事項を明記の上，下記申込み先まで FAX または e-mail にてお申し込みください。なお，申込締切日以前に定員に達している場合がございますので，予めご了承ください。また，受講券は発行しませんので併せてご了承ください。

7. 申込締切日 令和4年10月22日(土)

8. 申込および 香川県生コンクリート工業組合(事務局:古田, 上野)

内容問合せ先 FAX:087-861-7453 e-mail: sanuki@zennama.or.jp TEL:087-861-7452

注)開催案内文書は,香川県生コンクリート工業組合および日本コンクリート工学会四国支部のHPにアップされています。

9. プログラム

司会 新居 宏美(香川県生コンクリート工業組合)

13:00～ 受付開始

13:30～13:35 開会挨拶 松永 雪夫(香川県生コンクリート工業組合理事長)

13:35～14:30 (仮題)高強度コンクリートのJIS認証取得に関する留意点
諏訪 一広(晴海小野田レミコン(株)専務取締役工場長)

14:30～14:40 休憩

14:40～15:40 (仮題)35℃を超えたコンクリートの品質確保
諏訪 一広(前掲)

15:40～15:50 休憩

15:50～16:50 (仮題)カーボンニュートラルへの全生連の取り組み
原田 修輔(全国生コンクリート工業組合連合会常務理事)

16:50～ 閉会挨拶 橋本 親典(公益社団法人 日本コンクリート工学会四国支部長)

【参加申込書】

令和4年 月 日

香川県生コンクリート工業組合 行き

FAX 087-861-7453 または e-mail : sanuki@zennama.or.jp

勤 務 先			
連絡担当者			
参 加 者 氏 名	役職名または所属部課名		

【生コンセミナー i n 香川】

主 催 香川県生コンクリート工業組合

共 催 公益社団法人 日本コンクリート工学会四国支部

全国生コンクリート工業組合連合会四国地区本部

日 時 令和4年11月2日（水）13時30分～17時

場 所 パールガーデン「讃岐の間」（香川県高松市福岡町 2-2-1）

生コンセミナー i n 高知

－ 今回はまるごと活性化－

生コン工場のさらなる活性化を目指して！

～ 四国の生コン技術力活性化委員会の活動 10 年を記念して ～

本セミナーは平成 17 年度に香川県でスタートし、各県持ち回りで開催しています。令和 3 年度はコロナ禍により開催できなかったため、今年度は 11 月 2 日に開催した「i n 香川」に引き続き「i n 高知」を開催することになりました。

今回は、日本コンクリート工学会（JCI）四国支部の研究委員会である「四国の生コン技術力活性化委員会」の活動成果を紹介いたします。本委員会は平成 24 年に設立され、2 年後に開催される JCI 年次大会 2014（高松）での研究発表を目的に、島弘委員長（高知工科大学教授）の指導の下、四国四県の生コンクリート工場または試験所に所属する委員が参画し活動しました。年次大会 2014 に投稿した論文は四県とも採択され、当初の目的は達成しましたが、さらなる活性化を目的に活動を継続し現在第 5 期委員会において成果を取り纏めています。委員会の活動期間は原則 2 年間ですが、第 5 期委員会はコロナ禍で活動が停滞したこともあり、1 年間延長しました。また、島先生が欧州留学で留守であった第 3 期委員会は徳島大学大学院の橋本親典教授に委員長をお願いして活動を継続しました。

本セミナーでは、最初に第 5 期委員会の研究成果 4 編を発表します。続けて、橋本親典教授に特別講演をお願いしました。その後、活性化委員会活動 10 年を記念して「活動 10 年の軌跡」について紹介します。さらに、「活性化委員会のこれまでの総括と今後の活性化のための提言」をテーマにパネルディスカッションを計画しました。生コン工場の技術力向上と活性化のために何をするべきか本音により討論します。今後の取り組み方針の参考になるのではと考えます。

このようにホットな話題を提供したいと考えていますので、是非ご出席くださいますようご案内申し上げます。

記

1. 主 催 公益社団法人 日本コンクリート工学会四国支部
共 催 高知県生コンクリート工業組合
全国生コンクリート工業組合連合会四国地区本部
2. 日 時 令和 5 年 3 月 10 日（金）13 時 30 分～17 時
3. 場 所 サンピアセリーズ 高知（高知県高知市高須砂地 155）
4. 定 員 100 名
5. 参加費 1,000 円（報告書代込み、当日受付にて徴収します）

6. 申込方法

参加申込書に所定事項を明記の上、下記申込み先まで FAX または e-mail にてお申し込みください。なお、申込締切日以前に定員に達している場合がございますので、予めご了承ください。また、受講券は発行しませんので併せてご了承ください。

7. 申込締切日 令和 5 年 3 月 3 日（金）

8. 申込および 高知県生コンクリート工業組合（事務局：森澤，片岡）

内容問合せ先 FAX：088-833-3242 e-mail：namakon-kochi@sirius.ocn.ne.jp
TEL：088-833-3110

注）開催案内文書は、日本コンクリート工学会四国支部のHPにアップされています。

9. プログラム

司会 森澤 勝弘（高知県生コンクリート工業組合）

13:00～ 受付開始

13:30～13:35 開会挨拶 山中 伯（高知県生コンクリート工業組合理事長）

13:35～14:40 JCI 四国支部「四国の生コン技術力活性化委員会【第 5 期】」成果報告

趣旨説明：島 弘（高知工科大学教授）

① 養生水槽で保管して脱型時期を遅らせた供試体の強度に関する検討

古田 満広（香川県生コンクリート工業組合）香川グループ

② 尿素等を混和材として用いたコンクリートの諸性状

三島 拓也（檜野石灰工業㈱）徳島グループ

③ 普通ポルトランドセメントを用いた超早期交通開放型舗装コンクリートについて

森澤 勝弘（高知県生コンクリート工業組合）高知グループ

④ 単位水量試験と強度推定式を活用した練混ぜ工程の強度管理に関する検討

成川 真悟（㈱キクノ）愛媛グループ

14:40～14:50 休憩

14:50～15:35 活性化委員会活動 10 周年記念特別講演

生コンクリートを対象とした IoT 技術の新しい展開

— 無線 IC タグを用いた流動過程におけるフレッシュコンクリートの加速度の定量化 —

橋本 親典（徳島大学大学院教授，第3期活性化委員会委員長）

15:35～15:50 四国の生コン技術力活性化委員会 10年の活動について

古田 満広（第1期～5期活性化委員会幹事長）

15:50～16:00 休憩

16:00～17:00 本音で語ろう活性化 10年

「活性化委員会のこれまでの総括と今後の活性化のための提言」

【コーディネータ】古田 満広（前掲）

【パネラー】

- ・島 弘（前掲）
- ・橋本 親典（前掲）
- ・新居 宏美（香川県生コンクリート工業組合）香川グループ
- ・林 憲之（阿南生コンクリート工業㈱）徳島グループ
- ・森澤 勝弘（前掲）高知グループ
- ・渡部 善弘（愛媛県生コンクリート工業組合中予技術センター）愛媛グループ

17:00～ 閉会挨拶 橋本 親典（公益社団法人 日本コンクリート工学会四国支部長）

令和4年4月吉日

JCI 四国支部会員 各位

公益社団法人 日本コンクリート工学会四国支部
支部長 橋本 親典

2022 年度コンクリートに関する技術情報交換会（ZOOM 会議） 開催のご案内

拝啓

時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

JCI 四国支部としては、ZOOM会議のシステムを使って会員相互の情報交換を行える場を共有するという目的のオンライン講演会を開催することになり、2021 年度は下期に2回開催しました。

つきましては、2022 年度の「コンクリートに関する技術情報交換会（ZOOM会議）」のプログラムができましたので、お知らせいたします。

奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

敬具

記

第3回コンクリートに関する技術情報交換会

2022 年 6 月 21 日（火） 15:30 ～17:00

15:30～15:35 支部長挨拶

15:35～16:15 話題提供 1 「目視情報を活用した RC 構造物の剥落予測手法（仮称）」

阿南工業高等専門学校 創造技術工学科・建設コース 角野 拓真

16:15～16:20 休憩

16:20～17:00 話題提供 2 「清水建設の最新の土木施工におけるコンクリート技術の紹介（仮称）」

清水建設(株) 藤井 禎

第4回コンクリートに関する技術情報交換会

2022 年 11 月 9 日（水） 15:30～17:00

15:30～15:35 支部長挨拶

15:35～16:15 話題提供 1 「シリンダーを用いた簡易透気試験装置の紹介（仮称）」

徳島大学大学院 渡邊 健

16:15～16:20 休憩

16:20～17:00 話題提供 2 「ひび割れ抑制を目的とした膨張コンクリートの選定と効果について（仮称）」

大旺新洋(株) 下村 昭司

参加方法：

参加希望の方は、JCI 四国支部事務局 h_nii@zennama.or.jp に以下の内容を、メールにて連絡してください。参加費は無料です。ただし、JCI 会員でない方は、JCI に個人会員として入会していただく必要があります。

メール件名：JCI 四国支部 コンクリートに関する技術情報交換会 参加申し込み

記載項目：1. 氏名、2. JCI 会員番号、3. 希望する回数（第3回／第4回）、4. ZOOM会議のためのメールアドレス

送っていただいたメールに、当日のZOOM会議のURLを開催日近くなりましたら、お送りします。

2022年度収支決算

(単位：円)

項 目	2022年度予算 (a)	2022年度決算 (b)	差 異 *	備 考
【 収 入 】				
1. 本 部 交 付 金	1,802,460	1,801,380	▲ 1,080	2021年度より支部交付金の算出方法が変更になった
2. コンクリート診断士試験報酬金	190,000	188,000	▲ 2,000	220名 (前年度比-29名)
3. コンクリート技士試験報酬金	300,000	298,560	▲ 1,440	技士378名 主任194名 (前年度比 技士+4名, 主任-4名)
4. 見 学 会 収 入	20,000	0	▲ 20,000	見学会中止
5. 講 習 会 収 入	50,000	58,000	8,000	活性化委員会成果報告会参加費54,000円, 報告書販売4,000円
6. 雑 収 入	10	29	19	利息13円
7. 懇 親 会 収 入	0	0	0	総会中止
合 計 (A)	2,362,470	2,345,969	▲ 16,501	
8. 前期繰越収支差額	1,985,526	1,985,526	0	
当期収入合計 (B)	4,347,996	4,331,495	▲ 16,501	
【 支 出 】				
9. 会 議 費				
1) 総会費	0	0	0	総会中止
2) 執行委員会費	150,000	0	150,000	WEB2回開催
3) 幹部会費	0	78,460	▲ 78,460	WEB1回, 対面式で1回開催
小 計	150,000	78,460	71,540	
10. 事 業 費				
1) 特 別 講 演 会	0	0	0	総会中止
2) 見 学 会	120,000	0	120,000	見学会中止
3) 講習会・講演会	350,000	263,400	86,600	生コンセミナー i n 香川50,000円 活性化報告会会場費90,280円, 講師等交通費123,120円
4) 広 報 費	50,000	50,000	0	HP維持経費
5) 研 究 委 員 会	967,460	643,065	324,395	活性化委員会413,065円 教育に関する委員会(つるぎ高校150,000円, コンクリート甲子園参加4校支援80,000円)
6) リモート関係調査費	300,000	0	300,000	オンライン講習会(成果報告会)開催していない
小 計	1,787,460	956,465	830,995	
11. 管 理 費				
1) 事務費(消耗品等)	10,000	0	10,000	
2) 業 務 委 託 費	240,000	240,000	0	
3) 旅 費 ・ 交 通 費	15,000	23,260	▲ 8,260	内部監査, 生コンセミナー i n 香川閉会挨拶
4) 手 数 料	10,000	3,960	6,040	支払い手数料
小 計	275,000	267,220	7,780	
12. 通 信 費	80,000	26,275	53,725	
13. 未 払 い 金	0	0	0	
当期支出合計 (C)	2,292,460	1,328,420	964,040	
14. 当期収支差額(A-C)	70,010	1,017,549	—	
15. 手許現金残高(D=B-C)		3,003,075		
16. 本 部 へ 預 託 金(E)	0	800,000		支部の持ち金が多いため, 本部が管理(2021. 07. 14預託)
17. 次期繰越収支差額(D+E)	2,055,536	3,803,075	—	

(注) * 差異欄: 収入項目 b-a, 支出項目 a-b

2023 年 4 月 10 日

公益社団法人 日本コンクリート工学会
会 長 西 山 峰 広 殿

公益社団法人 日本コンクリート工学会
四国支部検査役 堀 井 克 章



日本コンクリート工学会四国支部 内部監査報告書

内部監査結果を以下のとおり報告します。

1. 実施した監査の概要

- (1) 監査実施日 2023 年 4 月 8 日 (土) 13 時 00 分～14 時 00 分
- (2) 監査実施場所 香川県生コンクリート工業組合 (四国支部事務局)
香川県高松市茜町 28 番 40 号
- (3) 監査の対象 公益社団法人 日本コンクリート工学会四国支部
- (4) 監査担当者 四国支部検査役 堀井 克章 (立会人 支部長 橋本 親典)
- (5) 監査の目的
 - ・ 監査対象期間 2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日
 - ・ 会計監査
2022 年度収支決算の適切性確認
 - ・ 業務監査
2022 年度に実施した業務活動の適切性確認
- (6) 監査方法

2022 年 4 月～2023 年 3 月まで 1 か月に 1 回の頻度で本部へ報告する月次収支報告書, 元帳・振替伝票, 通帳のコピーを検査役がその都度確認した。また, 2023 年 3 月末の収支決算書, 残高証明書, 普通預金通帳および 2022 年度四国支部事業報告書を確認した。

2. 実施した監査の結果

(1) 会計監査

収支決算が適切であることを以下のとおり確認した。

- ・ 3 月末現在の手元現金残高は 0 円である。
- ・ 3 月末現在の通帳残高は, 2,972,015 円である。
- ・ 3 月末現在において仮払いは 31,060 円。

(2023 年 1 月 30 日に開催した年次大会 2024 実行委員会参加者 3 名の旅費)

- ・ 預金の出入記録と証憑が整合している。
- ・ 銀行印と通帳が適切に管理されている。

(2) 業務監査

2022 年度に実施した業務活動が適切であることを以下のとおり確認した。

- ・ 支部幹部会が 2 回開催された。なお、審議内容については確認済。(Web1 回, 対面 1 回)
- ・ 支部執行委員会が 2 回開催された。なお、審議内容については確認済。(Web2 回)
- ・ 支部執行部候補者推薦委員会が 1 回開催された。
- ・ 2022 年度内部監査が実施された (対面)。
- ・ 2022 年度支部総会はコロナ禍により中止された。(総会資料は HP に掲載)
- ・ 2 件の研究委員会が活動した。
- ・ コンクリートに関する技術情報交換会 (Web 会議) を 2 回開催した。
- ・ 第 15 回コンクリート甲子園予選参加校に対し支援金を助成した。
- ・ コンクリート診断士試験を支援した。
- ・ コンクリート技士・主任技士試験を支援した。
- ・ 支部 HP を随時更新した。
- ・ 香川県生コンクリート工業組合への業務委託については確認済。
- ・ 支部長印が適切に保管されている。

(3) 総合的意見

2022 年度当初の予算案および業務活動がコロナ禍により一部変更されたが、2022 年度収支計算書の記載事項および業務活動内容は適切であると評価する。

(4) 指摘事項

特になし。

(5) 改善提案事項

特になし。

以上

J C I 四国支部 2023年度事業計画(案)

1. 支部幹部会

【第14回】(2023年度第1回)

日 時：2023年11月

場 所：香川県生コンクリート工業組合 2F 会議室（対面式）

議 題：上半期の事業報告と下半期の事業計画確認 等

【第15回】(2023年度第2回)

日 時：2024年1月中旬

場 所：香川県生コンクリート工業組合 2F 会議室（対面式）

議 題：12月末までの収支決算の確認、2024年度事業計画と事業予算の審議 等

2. 支部執行委員会

【第14回】(2023年度第1回)

日 時：2023年5月16日（火）13時30分～14時45分

場 所：リーガホテルゼスト高松（高松市古新町 9-1）（総会直前に対面式）

議 題：2022年度事業報告・収支決算報告、2023年度事業計画・収支予算最終確認 等

【第15回】(2023年度第2回)

日 時：2024年1月下旬～2月初旬

（次年度収支予算、事業計画を2月中旬までに本部へ報告しなければならない。）

場 所：香川県生コンクリート工業組合（Web 会議）

議 題：12月末までの収支決算の確認、2024年度事業計画と事業予算の審議 等

3. 支部執行部候補者推薦委員会

【第7回】

日 時：2024年1月中旬（第15回支部幹部会と同日開催）

場 所：香川県生コンクリート工業組合 2F 会議室（対面式）

4. 内部監査

日 時：2023年4月8日（土）13時～14時

場 所：香川県生コンクリート工業組合 2F 会議室（対面式）

出席者：橋本支部長、堀井検査役、古田出納管理者、新居

5. 支部総会

日 時：2023年5月16日（火）15時00分～16時20分

場 所：リーガホテルゼスト高松（高松市古新町 9-1）

スケジュール（案）

- 13:30～14:45 第14回支部執行委員会
 15:00～16:00 総会
 16:00～16:20 四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会活動報告1件
 (徳島県立つるぎ高等学校)
 16:30～17:30 特別講演会
 17:30～19:30 懇親会

6. 研究委員会活動

- 1) 四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会【常設委員会】(p26 参照)
 委員長：上田隆雄（徳島大学）・・・四国支部長担当
 幹事長：近藤拓也（高知高専）
- 2) コンクリート工の生産性向上のためのトラックアジテータ車の高性能化に関する研究委員会（新規）(p27 参照)
 委員長：橋本親典（徳島大学）
 幹事長：横山卓哉（㈱キクノ），幹事：新居宏美（香川県生コンクリート工業組合）
- 3) コンクリート構造物の品質確保のための新技術開発と実践に関する研究委員会
 委員長：岡崎慎一郎（香川大学）
 幹事長：角野拓真（阿南高専）

7. 講演会・講習会など

- 1) 特別講演会
 日 時：2023年5月16日（火）16時30分～17時30分
 場 所：リーガホテルゼスト高松（高松市古新町9-1）
 講演題目：茅葺・茅採取ワークショップの実践：四国南西部の茶堂と四国カルスト（仮称）
 講演者：釜床 美也子（香川大学 創造工学部 創造工学科 建築・都市環境コース 講師）
- 2) 講習会
 ・四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会活動報告（別冊）
 モデル活動校：徳島県立つるぎ高等学校
 日 時：2023年5月16日（火）16時00分～16時20分
 場 所：リーガホテルゼスト高松（高松市古新町9-1）
 テーマ：コンクリート甲子園への初挑戦および防災かまど製作
 講演者：松川将大（徳島県立つるぎ高等学校教諭）
 公 表：報告後，発表用のpptスライドを支部総会資料と併せてHPへアップする。
 ・生コンセミナー in 徳島
 日 時：未定
 場 所：未定
 主 催：JCI 四国支部

共 催：徳島県生コンクリート工業組合

・コンクリート技術研修会

日 時：未定

場 所：未定

主 催：高知県コンクリート診断士会

後 援：JCI 四国支部

3) コンクリートに関する技術情報交換会（Web 会議）（p28 参照）

・第5回

日 時：2023年8月7日（月）15時30分～17時

話題1：コンクリートのひび割れ調査，補修・補強指針2022の概要（仮題）

報告者：西田 孝弘（静岡理工科大学）

話題2：ひび割れ調査・原因推定ソフトの概要（仮題）

報告者：河合 慶有（愛媛大学大学院）

・第6回

日 時：2023年11月24日（金）15時30分～17時

話題1：グラウト調査手法の概要と広帯域超音波法（WUT）の特徴について（仮題）

報告者：天谷 公彦（日本ピーエス）

話題2：腐食PC鋼材へのグラウト再注入工の適用性と近年の動向

報告者：近藤 拓也（高知高専）

4) その他

8. 見学会

日 時：2023年9月25日（月）

場 所：松山自動車道（ネクスコ）

9. 本部関連行事

1) コンクリート診断士試験

日 時：2023年7月23日（日）

場 所：高松国際ホテル（高松市木太町 2191-1）

統括責任者：松島学（香川大学） 事務責任者：古田満広（香川県生コン組合）

監督者：1名（昨年：1名）

監督補助者：7名（昨年：香川大学7名）

事務補助者：香川県生コン組合2名

2) コンクリート技士・主任技士試験

日 時：2023年11月26日（日）

場 所：香川大学創造工学部

統括責任者：吉田秀典（香川大学） 事務責任者：古田満広（香川県生コン組合）

監督者：9名（昨年：香川大学9名）

監督補助者：26名（昨年：香川大学26名）

事務補助者：香川県生コン組合2名

10. ホームページ運営

JCI 四国支部のホームページを充実する。

11. 会員増強

JCI 会員の増強を図る。

以上

令和5年度「四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会」委員一覧

NO.	役職	氏名	所属	郵便番号	住所	備考
1	委員長	橋本 親典	徳島大学大学院	770-8506	徳島県徳島市南常三島町2-1	JCI四国支部支部長
2	幹事長	近藤 拓也	高知工業高等専門学校	783-8508	高知県南国市物部乙200-1	
3	委員	前川 英介	香川県立多度津高等学校	764-0011	香川県仲多度郡多度津町栄町1-1-82	
4	〃	尾寄 秀典	香川県立高松南高等学校	761-8084	香川県高松市一宮町531番地	所属変更
5	〃	松川 将大	徳島県立阿南光高等学校	774-0045	徳島県阿南市宝田町今市中新開10-6	新任
6	〃	吉田 俊夫	徳島県立徳島科学技術高等学校	770-8506	徳島県徳島市北矢三町2-1-1	
7	〃	根口 百世	高知県立高知工業高等学校	780-8010	高知県高知市栈橋通り2-11-6	
8	〃	小松 博英	高知県立高知工業高等学校	780-8010	高知県高知市栈橋通り2-11-6	
9	〃	上岡 義広	愛媛県立東予高等学校	799-1371	愛媛県西条市周布650	
10	〃	伊藤 博喜	愛媛県立松山工業高等学校	790-0021	愛媛県松山市真砂町1番地	新任
11	〃	林 和彦	香川高等専門学校	761-8058	香川県高松市勅使町355	
12	〃	角野 拓真	阿南工業高等専門学校	774-0017	徳島県阿南市見能林町青木265	

四国支部

研究委員会「コンクリート工の生産性向上を目的としたトラックアジテータ車の高性能化に関する研究委員会」の委員公募について

応募期限：2023 年 6 月 2 日（金）

日本コンクリート工学会 四国支部

日本コンクリート工学会四国支部では、令和 5 年度から研究委員会「コンクリート工の生産性向上を目的としたトラックアジテータ車の高性能化に関する研究委員会」（委員長：徳島大学大学院 橋本親典，幹事長：(株)キクノ 横山卓哉，幹事：香川県生コン工組 新居宏美）が発足します。つきまして、下記のとおり委員を公募いたしますので、ふるってご応募ください。

記

1. 応募方法：E-mail で下記まで①氏名，②所属・連絡先を送る。
徳島大学大学院 橋本親典
TEL：088-656-7321
E-mail：chika@ce.tokushima-u.ac.jp
2. 応募資格：四国支部圏内（香川県，徳島県，高知県，愛媛県）に在住または勤務する四国支部所属会員とする。
3. 応募期限：2023 年 6 月 2 日（金）

4. 選考方法：委員長が行う。
5. 目的および活動内容：

コンクリート工の生産性向上の障害に①つに、レディーミクストコンクリートの受入検査がある。受入検査のうち、スランブ試験は、AI を用いた画像データによる判定技術が検討されている。しかしながら、空気量試験に関しては、あまり進んでいないのが現状である。これに対して、トラックアジテータ車のドラム全体を空気量試験の容器として捉えることで、単位容積質量による空気量の判定ができるのではないかという新しい試みが検討されている。

本研究委員会では、この試験方法の実証実験を四国内の生コン工場で実施し、問題点および解決策を洗い出す。

また、静電容量型加速度センサを内蔵した無線 IC タグを用いてミキサ車に積載されたコンクリートのスランブロス の定量化を試みる研究がある。この研究課題についても、本研究委員会で取り扱うこととする。
6. そ の 他：研究委員会の活動は原則として 2 年間とする。

令和5年4月吉日

JCI 四国支部会員 各位

公益社団法人 日本コンクリート工学会四国支部
支部長 橋本 親典

2023年度コンクリートに関する技術情報交換会（ZOOM 会議）

開催のご案内

拝啓

時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

JCI 四国支部としては、ZOOM会議のシステムを使って会員相互の情報交換を行える場を共有するという目的のオンライン講演会を2021年度より開催しています。

2023年度の「コンクリートに関する技術情報交換会（ZOOM会議）」のプログラムができましたので、お知らせいたします。（四国支部HPに掲載しています。）

奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

敬具

記

第5回コンクリートに関する技術情報交換会

2023年8月7日（月） 15:30～17:00

15:30～15:35 支部長挨拶

15:35～16:15 話題提供1 「コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針2022の概要（仮題）」
静岡理科大学 西田孝弘

16:15～16:20 休憩

16:20～17:00 話題提供2 「ひび割れ調査・原因推定ソフトの概要（仮題）」
愛媛大学大学院 河合慶有

第6回コンクリートに関する技術情報交換会

2023年11月24日（金） 15:30～17:00

15:30～15:35 支部長挨拶

15:35～16:15 話題提供1 「グラウト調査手法の概要と広帯域超音波法（WUT）の特徴について（仮題）」
日本ピーエス 天谷公彦

16:15～16:20 休憩

16:20～17:00 話題提供2 「腐食PC鋼材へのグラウト再注入工の適用性と近年の動向」
高知高専 近藤拓也

参加方法：

参加希望の方は、JCI 四国支部事務局 h_nii@zennama.or.jp に以下の内容を、メールにて連絡してください。参加費は無料です。ただし、JCI 会員でない方は、JCI に個人会員として入会していただく必要があります。

メール件名：JCI 四国支部 コンクリートに関する技術情報交換会 参加申し込み

記載項目：1. 氏名、2. JCI 会員番号、3. 希望する回数（第5回／第6回）、4. ZOOM会議のためのメールアドレス

送っていただいたメールに、当日のZOOM会議のURLを開催日近くなりましたら、お送りします。

2023年度収支予算（案）

（単位：円）

項 目	2023年度予算	2022年度決算	差 異 *	備 考
【 収 入 】				
1. 本 部 交 付 金	1,800,000	1,801,380	1,380	前年度実績とほぼ同額
2. コンクリート診断士試験報酬金	182,000	188,000	6,000	本部予算と整合させた
3. コンクリート技士試験報酬金	295,000	298,560	3,560	本部予算と整合させた
4. 見 学 会 収 入	20,000	0	▲ 20,000	バス代（@1,000円×20名）
5. 講 習 会 収 入	50,000	58,000	8,000	生コンセミナー i n 徳島：1,000円/名×50名
6. 雑 収 入	10	29	19	
7. 懇 親 会 収 入	90,000	0	▲ 90,000	懇親会費3,000円/名×30名
合 計 (A)	2,437,010	2,345,969	▲ 91,041	
8. 前期繰越収支差額	3,803,075	1,985,526	▲ 1,817,549	
当期収入合計 (B)	6,240,085	4,331,495	▲ 1,908,590	
【 支 出 】				
9. 会 議 費				
1) 総会費	550,000	0	550,000	2023.05.16（リーガホテル、懇親会出席総定数30名）
2) 執行委員会費	150,000	0	150,000	Web会議1回、対面式1回
3) 幹部会費	150,000	78,460	71,540	対面式2回
小 計	850,000	78,460	771,540	
10. 事 業 費				
1) 特 別 講 演 会	50,000	0	50,000	2019年度実績並み（講演者謝礼・旅費）
2) 見 学 会	120,000	0	120,000	バス使用。参加者障害保険料
3) 講習会・講演会	140,000	263,400	▲ 123,400	生コンセミナー i n 徳島主催100,000円 情報交流会発表者資料作成費10,000円/名×4名
4) 広 報 費	50,000	50,000	0	HP維持経費
5) 研 究 委 員 会	810,000	643,065	166,935	新規委員会2件500,000円、教育に関する委員会310,000円
小 計	1,170,000	956,465	213,535	
11. 管 理 費				
1) 事務費（消耗品等）	10,000	0	10,000	封筒作製等の予備費
2) 業 務 委 託 費	240,000	240,000	0	20,000円×12か月
3) 旅 費 ・ 交 通 費	15,000	23,260	▲ 8,260	支部長、検査役の内部監査時の旅費
4) 手 数 料	10,000	3,960	6,040	支払い手数料
小 計	275,000	267,220	7,780	
12. 通 信 費	80,000	26,275	53,725	支部正会員への案内3回（総会、講習会2回）
13. 未 払 い 金	0	0	0	
当期支出合計 (C)	2,375,000	1,328,420	1,046,580	
14. 当期収支差額 (A-C)	62,010	1,017,549	—	
15. 手許現金残高 (D=B-C)	3,065,085	3,003,075		
16. 本 部 へ 預 託 金 (E)	800,000	800,000		支部の持ち金が多いため、本部が管理（2021.07.14預託）
17. 次期繰越収支差額 (D+E)	3,865,085	3,803,075	—	

（注）＊ 差異欄：収入項目 b-a，支出項目 a-b

支部執行部および検査役【2023年度確定名簿】 (2023年6月1日～)

1. 支部長、副支部長

役 職	氏 名	所 属	任 期		備 考
			～2024/5	～2025/5	
支部長	上田 隆雄	徳島大学大学院理工学研究部		○	副支部長⇒支部長
副支部長	大内 雅博	高知工科大学 工学部社会システム工学科		○	幹事⇒副支部長

2. 検査役

役 職	氏 名	所 属	任 期		備 考
			～2024/5	～2025/5	
検査役	堀井 克章	阿南工業高等専門学校創造技術工学科建設コース	○		

3. 幹事、執行委員

役 職	氏 名	所 属	任 期		備 考
			～2024/5	～2025/5	
支部幹事	氏家 勲	愛媛大学大学院理工学研究部	○		
	岡崎 慎一郎	香川大学創造工学部建築・都市環境コース		○	
	河合 慶有	愛媛大学大学院理工学研究部		○	執行委員⇒幹事
	白川 幸三	国土交通省四国地方整備局 四国技術事務所		○	4月交代
	富田 雄一	西日本高速道路(株)四国支社 建設・改築事業部技術計画課	○		
	橋本 親典	徳島大学大学院理工学研究部		○	
	林 和彦	香川高等専門学校 建設環境工学科		○	
	藤井 禎	(一社)日本建設業連合会四国支部 清水建設(株) 四国支店土木部		○	
	古田 満広	香川県生コンクリート工業組合	○		
	横井 克則	高知工業高等専門学校 ソーシャルデザイン工学科	○		
	渡辺 健	徳島大学大学院理工学研究部		○	
(計11名)					
支部執行委員	朝倉 光司	(株)四電技術コンサルタント 土木事業部		○	
	角野 拓真	阿南工業高等専門学校創造技術工学科建設コース		○	新規執行委員
	熊沢 敬輔	(有)熊沢構造設計事務所	○		
	近藤 拓也	高知工業高等専門学校 ソーシャルデザイン工学科	○		
	佐藤 義昭	UBE三菱セメント㈱ 四国支店 (四国地区セメント技術委員会)		○	新規執行委員
	鈴木 卓	高知工科大学 工学部社会システム工学科	○		
	玉井 典	(株)四国総合研究所 土木技術部		○	
	戸田 友一	㈱コンパース		○	新規執行委員
	中村 康一	中村建築構造設計	○		
	松島 学	香川大学創造工学部建築・都市環境コース	○		
	松並 徹	コンクリート用化学混和剤協会 中四国ブロック		○	
	松本 直樹	四国電力(株)	○		
	山中 伯	全国生コンクリート工業組合連合会四国地区本部 (高知県生コンクリート工業組合)		○	
	横山 卓哉	全国コンクリート製品協会四国支部	○		
	吉田 秀典	香川大学創造工学部建築・都市環境コース		○	
	吉田 幸稔	(一社) 日本砕石協会 四国地方本部	○		
(計16名)					
計27名			12名	15名	

4. 本部理事 (参考)

氏 名	所 属	任 期
橋本 親典	徳島大学大学院理工学研究部	2024年度本部総会まで

支部規程

(目的)

第1条 本規程は、公益社団法人日本コンクリート工学会（以下「本学会」という。）定款（以下「定款」という。）第51条により設置する支部の組織、運営等に関する事項について、学会規則（以下「規則」という。）第35条に基づき定めることを目的とする。

2. 支部の組織、運営等については、定款及び規則に定めるもののほか、他の規程に特別の定めがある場合を除き、本規程の定めるところによる。

(支部会員)

第2条 支部は、原則として定款第51条別表に定める地区に在職する会員をもって組織する。ただし、非在職者にあつては、原則として同地区内に在住する会員、また、学生会員にあつては、原則として同地区内に所在する学校に通学する会員とする。

(事業)

第3条 支部は、定款第51条別表に定める地区内に於いて、定款第4条に定める本学会の事業の一部を分掌する。具体的には、次の事業のうち規則第33条に定める目的達成のために必要な事業を行う。

- (1) コンクリートに関する調査研究
- (2) コンクリートに関する研究成果の普及
- (3) 研究報告及び資料の刊行
- (4) 講演会、講習会及び研究会の開催
- (5) 情報の収集、紹介及び交換
- (6) コンクリートに関する表彰、奨励
- (7) コンクリートに関する啓発及び広報活動
- (8) 国内外のコンクリートに関する組織の活動に対する協力
- (9) コンクリートに関する技術向上をはかるための教育及び本部が実施する資格付与事業への協力
- (10) その他本学会の目的を達成するために必要な事業

2. 前項第8号、第9号及び第10号の事業については、本部の承認を得たもの、または本部の指示もしくは要請に基づくものに限る。

(支部執行部)

第4条 支部に次の執行部を置く。

- (1) 支部長 1名
- (2) 副支部長 1名
- (3) 支部幹事 15名以内とし、具体的な定数は支部執行委員会にて定める。

(4) 支部執行委員 50 名以内とし、具体的な定数は支部執行委員会にて定める。
(支部執行部の選任方法)

第 5 条 支部執行部候補者推薦委員会規程に基づき、支部執行部候補者推薦委員会を設置する。支部執行部候補者推薦委員会は、前条に定める支部執行部の定数の被選任候補者として、支部に所属する正会員から次期執行部の候補者を選定し、支部執行委員会に諮る。

2. 支部長及び副支部長は、支部執行委員会で候補者を選定し、理事会で選任する。
3. 支部幹事及び支部執行委員は、支部執行委員会で選任し、理事会に報告する。
4. 支部長が欠けたときは、補充者を選任する。この場合、その選任については第 2 項の定めによる。
5. 副支部長、支部幹事、支部執行委員が欠けたときは、補充者を選任することができる。この場合、その選任については第 2 項もしくは第 3 項の定めによる。
6. 支部幹事及び支部執行委員は、原則として毎年約半数が交代するように選任する。

(支部執行部の任期)

第 6 条 第 4 条に定める支部長以下の支部執行部の任期は、2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2. 前条第 4 項及び第 5 項に基づき選任された補充者の任期は、前任者の残余の期間とする。
3. 任期満了後でも、後任者が就任するまでは、その職務を行なわなければならない。

(支部執行部の職務)

第 7 条 支部執行部は次の職務を行う。

- (1) 支部長 当該支部を代表し、支部の会務を統括する。
- (2) 副支部長 支部長（支部経理責任者の職務を含む）を補佐し、支部長に事故あるときは、その職務を代行する。
- (3) 支部幹事 支部長及び副支部長を補佐し、支部執行委員会で定めた分担に基づき支部会務を処理する。
- (4) 支部執行委員 支部執行委員会にて定めた分担に基づき支部会務を処理する。

(顧問)

第 8 条 支部に顧問を置くことができる。顧問は、支部執行委員会に出席し、支部運営について意見を述べることができる。

2. 顧問の任期は、2 年とし、再任を妨げない。
3. 顧問の委嘱は、支部執行委員会の承認を必要とする。

(支部総会)

第 9 条 支部長は、支部総会を招集し、支部総会の議長となる。

2. 第 2 条に定める会員は、支部総会に出席し意見を述べるができる。
3. 支部総会の目的事項は、定款第 51 条第 3 項の定めに基づき報告事項とし、具体的

には第2条に定める会員に対し次の事項について報告し、意見を求めるものとする。

- (1) 支部の事業活動の方針及び主要な活動状況
- (2) 支部の財政状態
- (3) 支部の執行部体制
- (4) その他支部運営に係る重要な事項

(支部執行委員会)

第10条 支部運営を統括するため当該支部担当理事の管掌の下に、支部執行委員会及び支部幹部会を設置する。ただし、支部執行委員会及び支部幹部会の決定は、定款第51条第3項の定めにより、理事会の権限を侵すことはできない。

2. 支部長は支部執行委員会及び支部幹部会を招集し、支部執行委員会及び支部幹部会の議長となる。

3. 支部執行委員会は、当該支部担当理事及び第4条に定める支部長以下の執行部で構成し、次の事項について審議、決定する。

- (1) 支部の事業計画案及び収支予算案
- (2) 支部の事業報告案及び決算案
- (3) 支部の規程類の制定案及び改廃案
- (4) 支部長候補者及び副支部長候補者の選定
- (5) 支部幹事及び支部執行委員の任免
- (6) 支部選出選挙管理委員候補者の選定
- (7) 代議員選挙規則に基づく代議員候補者の推薦
- (8) 支部の各種委員会（支部執行委員会及び支部執行部候補者推薦委員会を除く）の設置及び廃止
- (9) 支部の各種委員会（支部執行委員会を除く）委員の任免
- (10) その他支部運営に必要な事項

4. 支部幹部会は、当該支部担当理事、支部長、副支部長、支部幹事により構成し、次の事項について取り扱う。

- (1) 支部執行委員会に付議する重要な案件の事前審議
- (2) 支部運営に係わる軽微な事項の審議・決定
- (3) 支部各種委員会（支部執行委員会及び支部執行部候補者推薦委員会を除く）の活動状況等の報告及び指導
- (4) その他支部運営に係わる重要な事項の協議

5. 支部執行委員会及び支部幹部会の審議にて決定に至らない場合は、当該支部担当理事が会長、総務財務部門担当副会長と協議し、問題の解決に当たる。

(支部委員会)

第11条 第3条の事業を行うため、必要があるときは支部に委員会を設けることができる。

2. 支部委員会の委員長は、支部長の要請ある場合は支部執行委員会に出席しなければならない。

(事務局及び職員)

第 12 条 支部会務を遂行するため支部に事務局を設け、支部出納管理者を含む有給の職員を置く。

2. 支部出納管理者の任免は、規則第 41 条の定めにより、理事会の承認を得るものとする。
3. 支部出納管理者以外の職員の採用は、本部に上申のうえ、会長の承認を必要とする。
4. 事務局業務は、理事会の承認を得て外部に委託することができる。委託先には、支部出納管理者を特定のうえその氏名を事前に支部長に届けさせ、第 2 項に定める手続きをとるものとする。

(支部会計)

第 13 条 支部の会計は、規則第 35 条、第 36 条及び第 37 条の定めるところにより本学会全体の会計として取り扱う。

(本部への上申及び報告)

第 14 条 支部は、毎年、本部から指示された期日までに次の書類を会長に提出しなければならない。

- (1) 翌事業年度分の事業計画案及び収支予算案
- (2) 事業報告案及び計算書類（正味財産増減計算書、貸借対照表）案並びに財産目録案

2. 支部は、毎月所定の様式により、資金の出納実績等を本部へ報告する。
3. 支部は、その他各種規程に定めるところにより、適宜、上申、報告をしなければならない。

(監査)

第 15 条 支部は、会計監査人及び監事による監査の他に、規則第 40 条に定める検査役による内部監査の実施を拒んではならない。

2. 被監査部署となる支部は、円滑かつ効果的な内部監査が実施できるように、積極的に検査役に協力しなければならない。
3. 検査役は、担当する被監査支部の支部執行委員会及び支部幹部会に出席することができる。

(規程の改廃)

第 16 条 この規程の改廃は、定款・規則改定委員会の発議により、理事会の承認を得て改廃する。

附 則

1. この規程は、平成 28 年 5 月 25 日から施行する。